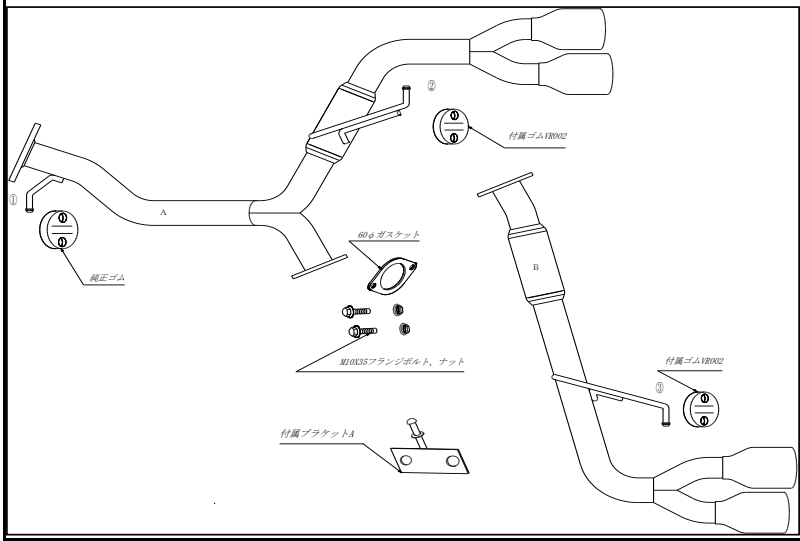


# 新規制対応品

製品名称	製品番号	車名	車両型式	年式	エンジン型式
<b>M'z SPEED</b>	MZ71	レクサス RX450h	DAA-GYL25W DAA-GYL20W	H26/7~ ~R1/7	2GR-6JM-2FM 2GR-6JM

構成部品及び付属品リスト	品名	使用部品	数量
	本体(A)	○	1
	本体(B)	○	1
	本取扱説明書	○	1
	60ガスケット	○	1
	M10x35フランジボルト	○	2
	M10フランジナット	○	2
	付属ブラケットA	○	1
	付属ブラケットB		1
	付属ブラケットC		1
	付属ゴムVR002	○	2
	M8*25フランジボルト	○	2



※こちらの年式車両では○以外の部品は使用しません

最低必要工具	
メガネレンチ	12mm 14mm
ソケットレンチ	12mm 14mm
トルクレンチ	

## 組付作業手順

### 警告!

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。  
**【(1)ご使用前に】**を十分に理解した上で作業を実施してください。  
 ※装着作業は必ず2名以上で行なってください。  
 ※文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

- 「本体A, Bを取付ける前の仮組付け」  
 最初に、車底部純正牽引フックを取り外し、付属ブラケットを純正ボルトにて取り付けしてください(写真参照)  
 次に付属ゴムVR002を取り付けブラケット②、③に純正より交換してください。  
 本体A, Bを仮組み付けして下さい。  
 本体A, Bフランジの間に付属60φガスケットを挟み、付属ボルト、ナット(M10x35)で仮締め付けて下さい。  
 次に、純正ゴムブッシュに吊り下げフック①を差込み、付属ゴムVR002に①、②吊り下げフックに差し込んでください。

- 「本体A, B, の仮組付け」  
 純正マフラー接合部と本体Aの接合部を付属M10フランジボルト、ナットにて仮締めします。

- 「全体の組み付け」  
 本体A, B及び出口の位置関係や自動車の床、その他周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら前から順番に指定トルクで締め付けてください。  
 (締め付けトルク400~500Kgf.cm)  
 テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合がある場合は最初から締め直してください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーの場合熱で溶けたりします。

- 「装着状態の確認」  
 全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。エンジンを始動して暖機し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検して下さい。運転して再度、各フランジからの排気漏れ、又は各部の異常音を点検してください。異常があれば、最初から装着をやり直してください。  
 《異常があれば、面倒でも最初からやり直して下さい。》  
 以上で当社マフラーの装着が完了しました。もう一度本取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをしましょう。

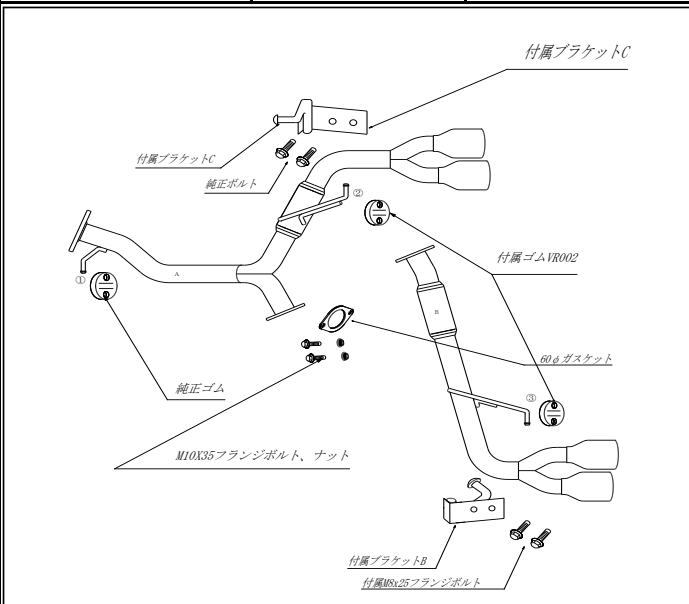
### お願い!

装着後200~300km走行した後にもう一度各部のボルト類の増し締めと、各フランジ間のガス漏れの点検をして下さい。

# 新規制対応品

製品名称	製品番号	車名	車両型式	年式	エンジン型式
<b>M'z SPEED</b>	MZ71	レグサス RX450h	6AA-GYL25W DAA-GYL25W 6AA-GYL20W DAA-GYL20W	R1/8~	2GR-6JM-2FM 2GR-6JM

構成部品及び付属品リスト	品名	使用部品	数量
	本体(A)	○	1
	本体(B)	○	1
	本取扱説明書	○	1
	60ガスケット	○	1
	M10x35フランジボルト	○	2
	M10フランジナット	○	2
	付属ブラケットA	○	1
	付属ブラケットB	○	1
	付属ブラケットC	○	1
	付属ゴムVR002	○	2
	M8*25フランジボルト	○	2



付属ブラケットC



付属ブラケットB



カットして下さい

パフォーマンスダンパー装着車

※こちらの年式車両では○以外の部品は使用しません

### 最低必要工具

メガネレンチ	12mm 14mm
ソケットレンチ	12mm 14mm
トルクレンチ	

### 組付作業手順

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。  
**【(1)ご使用前に】**を十分に理解した上で作業を実施してください。  
 ※装着作業は必ず2名以上で行なってください。  
 ※文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

### 警告!

作業中の怪我・火傷  
 純正マフラーを外して下さい。

- 「本体(A)(B)を取付ける前の仮組付け」  
 最初に、本体A、Bを仮組み付けして下さい。  
 本体A、Bフランジの間に付属60φガスケットを挟み、付属ボルト、ナット(M10x35)で仮締め付けて下さい。  
 次に、純正吊下げゴムに吊り下げフック①を差込んで下さい。  
 本体Aの前側フランジと純正センターパイプを接続して下さい。

**※2019年10月以降の車両の場合**  
 ボディー側吊下げブラケット(純正ブラケット)を付属ブラケットCに交換し、同位置対面に有るフレーム穴を利用し、付属ブラケットBを新設します。  
 上記手順を行ってください。純正牽引フックが交換マフラーに接触しますので、パフォーマンスダンパー付車は上記写真の位置付近にて切断加工(左右共)をし、交換マフラーと接触しない様に加工して下さい。  
 パフォーマンスダンパー無車は純正牽引フックを取外して下さい。

- 「本体A,Bのステー部取り付け」  
 本体A取り付けステー②を付属ブラケットCの付属ゴムVR002にしっかりと差し込みます。

本体B取り付けステー③を付属ブラケットBの付属ゴムVR002にしっかりと差し込みます。

- 「全体の組み付け」  
 本体A、B及び出口の位置関係や自動車の床、その他周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら前から順番に指定トルクで締め付けてください。  
 (締め付けトルク400~500Kgf.cm)  
 テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合がある場合は最初から締め直してください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーの場合熱で溶けたりします。
- 「装着状態の確認」  
 全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。エンジンを始動して暖機し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検して下さい。運転して再度、各フランジからの排気漏れ、又は各部の異常音を点検してください。異常があれば、最初から装着をやり直して下さい。  
 《異常があれば、面倒でも最初からやり直して下さい。》  
 以上で当社マフラーの装着が完了しました。もう一度本取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをしましょう。

### お願い!

装着後200~300km走行した後にもう一度各部のボルト類の増し締めと、各フランジ間のガス漏れの点検をして下さい。